

日本学術会議
国際リニアコライダー計画に関する検討委員会（第4回）
議事要旨

1. 日時 平成25年7月30日（火） 13:00－15:00
2. 会場 日本学術会議 6-A（1）会議室
3. 出席者：家委員長、今田副委員長、中野幹事、相原幹事、野家委員、米倉委員、
荒川委員、永原委員、岩澤委員、永宮委員 10名
欠席者：なし
事務局：石原参事官、辻上席学術調査員ほか
4. 資料 資料1 第3回議事要旨（案）
参考1 委員名簿
参考2 今後の委員会開催の予定

5. 議事

1) 前回議事要旨（案）の確認

資料1によって前回議事要旨の確認を行い、了承された。

2) 議論の進め方と各論点にかかわる意見について

文部科学省からの4点の審議依頼項目にしたがって、議論を行った。

(1) 学術的意義、素粒子物理学における位置づけについて

(未知の粒子の発見について)

(次世代コライダーとその取り組みの在り方)

(ヒッグスの発見とその詳細分析の重要性)

(ILCの目的)

(ヨーロッパの動き)

(ヒッグスとニュートリノ)

(最先端物理と大型計画)

(他の人への説得、コミュニティでの議論)

(2) 学術研究全体における位置づけについて

(物理学と他分野との関係)

(素粒子物理学をどうするか)

(既存の研究計画との関係)

(実現にかかわるリスク)

(4) 準備状況、および(3) 社会的意義について

(文部科学省によるプロジェクト評価)

(人的資源の確保等の諸条件)

(コミュニティとしてのロードマップ)

(ILC サイトの耐用年数と実験終了後の施設活用の見通し)

(日本のみが候補となっている理由)

(予算の確保について)

(キャンセルと point of return)

(「準備」を進める)

(コミュニティへの要望)

(文科省に対する回答内容)

(ニュートリノを手放すということ)

(国民の意見)

(経済波及効果)

今後の取りまとめの在り方

(公表の在り方、タイミングについて)

(書きぶり)

3) 今後の審議の進め方について

次回は8月6日(火) 15:00~17:00の予定。

次回は、途中段階の意見が公表されない方がよいという観点から、審議は非公開とすることとした(委員了承)。

次回以降日程:

【第5回】8月 6日(火) 15:00~17:00

【第6回】8月 12日(月) 10:00~12:00

【第7回】8月 28日(水) 17:00~19:00

【第8回】8月 29日(木) 17:00~19:00